

むらづくり

最小の経費で最大の効果を…

平成20年度のむらづくりがスタートしました。村では厳しい財政状況の中、「最小の経費で最大の効果」を念頭において、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は、一般会計が26億5千500万円、新たに「後期高齢者医療特別会計」が増え、全部で9会計となった特別会計が12億8千85万9千円、総額39億4千385万9千円の予算となりました。〔図1〕

昨年度に引き続き、特別職給料の減額（村長30％、副村長・教育長20％）や議員報酬の減額（25％）（※特別職給料と議員報酬については特例ではなく、条例を改正し、昨年度から減額した内容で支給）をはじめ、職員給与の特別勤務手当全額カット、管理職手当20％カット、通勤手当は16キロメートル上限で打ち切り、住居手当の持家全額カット（借家は50％カット）などによる人件費削減のほか、事務事業の見直しを一層進め、経費削減に努めながら、少ない財源を有効に活用し、「まめだ達者な村づくり事業」をはじめ、元気の出るむらづくりを進めていきます。

一般会計

【歳入】

地方交付税が全体の5割に

歳入（収入）のトップは、地方交付税（全国の自治体が一定の水準で事業が行えるように国から配分されるお金）の13億1千548万6千円で、歳入全体の49・5％を占めています。地方交付税は前年度と比べると150万7千

円（0・1％の増額ですが、地方交付税の補てん措置である臨時財政対策債は540万円（5％の減額であり、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた額では、384万2千円（0・3％の減額となり、自主財源（村が自分の手で確保できるお金）が乏しい本村にとって厳しい予算編成になりました。

自主財源では、村税が2億6千800万4千円で、前年度に比べ558万3千円（2・0％）の減額となりました。

に整備する携帯電話通信用鉄塔施設整備事業費の増によります。また、土木費が9千562万7千円（40・7％減額となったのは、公営住宅建設事業や高齢者居住棟建設事業が前年度までで完了したためです。〔図2〕〔図3〕

一方、性質別では、人件費が6億8千964万5千円（26・0％）と最も大きくなっていますが、前年度と比べて1千495万円（2・1％）減額となっています。次いで、普通建設事業費の4億3千102万6千円（16・2％）、補助費等の4億1千680万2千円（15・7％）、公債費の3億8千771万3

千円（14・6％）の順に続いています。〔図4〕〔図3〕

特別会計

後期高齢者医療特別会計を新設

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、独立して設けた会計をいいます。平成20年度は、国民健康保険（事業勘定・直診勘定、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学

■会計別予算の状況〔図1〕

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	26億5,500万円	6,800万円	2.6
特別会計	12億8,885万9千円	△3億6,982万1千円	△22.3
国民健康保険	事業勘定 4億9,200万円 直診勘定 9,000万円	1,100万円 500万円	2.3 5.9
老人保健	5,294万3千円	△4億6,816万9千円	△89.8
簡易水道事業	9,261万4千円	2,111万4千円	29.5
村営バス事業	728万1千円	39万4千円	5.7
集落排水事業	3,185万円	△150万円	△4.5
介護保険	3億1,810万6千円	2,180万5千円	7.4
交流施設	2,320万円	△30万円	△1.3
学校給食センター	1億4,013万8千円	10万8千円	0.1
後期高齢者医療	4,072万7千円	4,072万7千円	(新設)
予算総額	39億4,385万9千円	△3億182万1千円	△7.1

■一般会計歳入予算の状況〔図2〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	5億2,341万3千円	19.7	1,750万2千円	3.5
村税	2億6,800万4千円	10.1	△558万3千円	△2.0
繰入金	1億5,211万1千円	5.7	△225万1千円	△1.5
使用料及び手数料	3,378万4千円	1.3	415万2千円	14.0
繰越金	2,000万円	0.8	0円	0.0
その他①	4,951万4千円	1.8	2,118万4千円	74.8
依存財源	21億3,158万7千円	80.3	5,049万8千円	2.4
地方交付税	13億1,548万6千円	49.5	150万7千円	0.1
村債	2億7,510万円	10.4	2,130万円	8.4
県支出金	2億8,166万8千円	10.6	1,251万2千円	4.6
国庫支出金	1億6,362万3千円	6.2	1,667万9千円	11.4
その他②	9,571万円	3.6	△150万円	△1.5
計	26億5,500万円	100.0	6,800万円	2.6

※その他①＝分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

■一般会計目的別歳出予算の状況〔図3〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	6億5,217万2千円	24.6	1億3,654万5千円	26.5
総務費	4億1,218万5千円	15.5	5,794万4千円	16.4
農林水産業費	4億443万1千円	15.2	400万2千円	1.0
公債費	3億8,771万3千円	14.6	△1,850万8千円	△4.6
衛生費	2億4,611万5千円	9.3	1,629万3千円	7.4
教育費	2億1,097万円	7.9	△666万2千円	△3.1
土木費	1億3,916万4千円	5.2	△9,562万7千円	△40.7
消防費	1億1,078万1千円	4.2	216万9千円	2.0
議会費	4,766万1千円	1.8	105万1千円	2.3
商工費	2,878万9千円	1.1	255万8千円	9.8
その他	1,501万9千円	0.6	△3,176万5千円	△67.9
計	26億5,500万円	100.0	6,800万円	2.6

※その他＝災害復旧費、労働費、予備費

■一般会計性質別歳出予算の状況〔図4〕

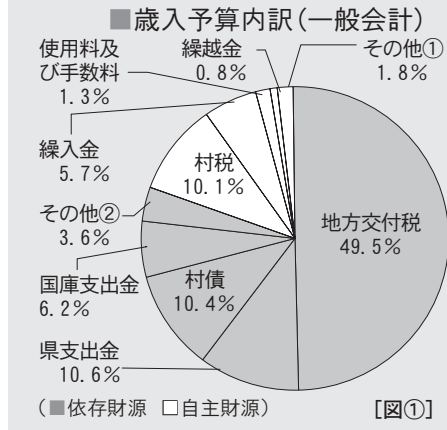
区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億8,964万5千円	26.0	△1,495万円	△2.1
普通建設事業費	4億3,102万6千円	16.2	1億658万9千円	32.9
補助費等	4億1,680万2千円	15.7	4,229万2千円	11.3
公債費	3億8,771万3千円	14.6	△1,850万8千円	△4.6
物件費	2億5,608万4千円	9.6	△658万円	△2.5
繰出金	2億4,538万7千円	9.2	△2,757万6千円	△10.1
扶助費	1億8,158万円	6.8	461万2千円	2.6
維持補修費	2,373万2千円	0.9	713万円	42.9
その他	2,303万1千円	1.0	△2,500万9千円	△52.1
計	26億5,500万円	100.0	6,800万円	2.6

※その他＝災害復旧費、投資及び出資金、貸付金、積立金、予備費

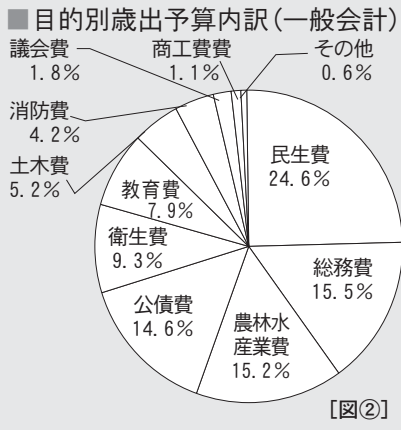
【歳出】 普通建設事業費が増加

次に歳出予算を見てみましょう。

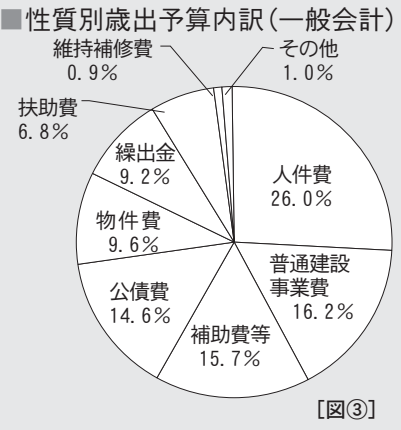
これは、個人村民税の減少が主な要因です。また、その他で2千118万4千円（74・8％）増加しているのは、携帯電話通信用鉄塔施設整備事業事業者負担金や電源地域振興事業交付金の増によるものです。〔図2〕〔図1〕



〔図1〕



〔図2〕



〔図3〕

全会計総額 約39億4,385万9千円

〔対前年度比 3億182万1千円（7.1％）減〕

主な事業概要④	主な事業概要③
＜農村の人づくりと産業ビジョン＞ 地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現 【学校教育の充実】 ●基礎学力向上推進支援事業(学習支援員ほか)〔新規〕 396万4千円 ●ふるさと後継者育成事業(中学校修学旅行助成) 108万円 【健康づくり・自主的スポーツ活動】 ●ふくしま駅伝実行委員会補助〔新規〕 135万8千円 【安心安全、顔の見える農業の振興】 ●中山間地域等直接支払交付金事業 1億2,504万8千円 ●水田作付条件整備事業(暗渠排水) 200万円 ●農業災害対策事業(有害鳥獣駆除事業電気柵購入)〔新規〕 196万9千円 ●肉用牛生産振興事業(輸送経費補助、ヘルパー補助) 120万円 ●優良牛整備増殖事業 120万円 ●草地更新事業 100万円 ●稲わら、堆肥循環型農業緊急対策事業〔新規〕 75万円 ●バイオマスタウン事業(堆肥成分検査、農産物成分検査など) 186万1千円 【ふるさとの森を守り育てる】 ●森林整備地域活動支援交付金事業(森林の維持・整備) 59万円 ●松くい虫防除事業(被害木伐倒駆除) 473万円 ●県単治山施設事業(3地区)〔新規〕 1,219万2千円 【商工業の振興】 ●商工業振興事業(商工会補助など) 354万円 【村の特徴を活かした観光の振興】 ●観光推進事業(うまいもの祭り補助など) 213万6千円 【その他】 ●地籍調査事業(大戸中第1地区) 3,299万2千円	＜農村の暮らしビジョン＞ みんなが安心して生活できる村の実現 【安心生活ができる公共交通づくり】 ●生活バス路線運行費 912万1千円 (福島交通バス運行費補助、村営バス繰出金) 【安心生活を支える情報網】 ●携帯電話通信用鉄塔施設整備事業(西野地区)〔新規〕 8,038万8千円 ●高度情報化事業(白河広域ネットワーク負担金など) 825万5千円 【多様な暮らしの工夫】 ●定住促進住宅整備事業(西山地区4戸・設計委託)〔新規〕 200万円 ●地域住宅交付金事業(空家住宅改修1棟)〔新規〕 676万7千円 【火災と災害への備え】 ●常備消防負担金 7,702万5千円 ●消防施設整備事業(小型動力ポンプ更新ほか) 310万2千円 【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】 ●住民健康診査事業(基本健診、がん検診など) 1,457万円 ●予防接種事業(乳幼児予防接種、インフルエンザなど) 423万5千円 【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】 ●高齢者生活支援事業(緊急通報システム借料、紙おむつ給付) 747万3千円 ●一般高齢者支援事業(筋力づくり教室など) 509万2千円 ●介護老人福祉施設整備費補助金〔新規〕 1億4,000万円 【子育て支援体制づくり】 ●乳幼児紙おむつ給付事業 300万円 ●保育業務 1億1,083万8千円 ●こどもセンター費(子育て支援事業など) 2,355万5千円 ●乳幼児・妊産婦医療費助成 922万7千円 ●妊婦一般健康診査 293万8千円 ●幼稚園児教育費 2,410万円 ●放課後児童クラブ事業(運営費) 275万円 【障害者の支援体制づくり】 ●重度障害者支援事業費(重度心身障害者医療費) 1,000万1千円 ●障害者福祉事業費 7,133万1千円 (障害者自立支援給付費、身体障害者更生医療給付費など) 【災害復旧事業】 ●過年度公共土木施設災害復旧事業(5か所) 623万円



主な事業概要②

＜農村の環境ビジョン＞

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

【道路網・道路環境の整備】

●村道関下関口線舗装事業7,150万円

●村道世々麦西谷地線舗装事業300万円

●林道関口鹿角平線改良舗装事業5,830万円

●林道木之根線改良事業548万円

●林道岩野草水口線改良事業(待避所設置)156万5千円

●林道酒垂宝木線改良事業(待避所設置)226万円

●県営農道整備事業負担金400万円

(東白川広域農道・東野中部農免農道)

【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】

●合併処理浄化槽整備事業(7人槽20基)1,200万円

【その他】

●東白衛生組合・東白斎苑運営費負担金7,220万7千円

【簡易水道事業特別会計】

●岩野草地区給水施設整備事業2,050万円

平成20年度予算編成方針

国は平成20年度予算を「経済財政改革の基本方針2007」において、歳出改革を軌道に乗せる上で極めて重要な予算と位置づけ、歳出全般にわたって引き続き最大限の削減を行うとしています。県においても深刻な財源不足に直面しており、市町村の予算編成に悪影響を及ぼすことが危惧されます。

厳しい財政状況のもと、本村が将来にわたり持続可能な財政バランスを保ちつつ発展していくためには、健全で安定した財政基盤の確立のもと、住民が未来に向かって明るい希望を持てるような施策や事務事業を効果的、効率的に展開していくことが求められています。前例や慣例に捕らわれることなく、すべての事務事業について見直しを行い、費用対効果をしっかりと見極め、緊急性や優先度を明らかにしながら施策の選別と重点化をすすめ、職員一人ひとりの創意と工夫により、少ない財源を効果的に活用し、第3次鮫川村振興計画の村づくりの目標である4つの主な事業の実現のために施策を推進するとともに、将来にわたり村が自立していくために財政の健全化を一層推進することを基本方針とします。

鮫川村長 大楽 勝弘

主な事業概要①

＜農村の再生ビジョン＞

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

【環境と健康を食べる】

●大豆振興対策事業564万8千円

(大豆栽培奨励、スローフードフェスティバルほか)

●エゴマ鶏開発事業(飼育委託、冷蔵庫など)335万1千円

●電源地域振興支援事業(加工施設改修・調理器具購入)718万6千円

【農村の景観と文化を生かす】

●緑のふるさと協力隊事業(NPOを活用した農作業などの援助)135万2千円

●森林環境税交付金事業(重点枠事業：鎭山公園整備)695万6千円

村民1人당に使われるお金は616,295円〔△25,521円〕です。

〔一般会計歳出予算額÷平成20年3月1日現在の人口4,308人で計算。【 】内は対前年比。平成18年度は平成19年3月1日現在の人口4,379人で計算。〕

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	151,386円 〔33,636円〕
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	95,679円 〔14,784円〕
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	93,879円 〔2,436円〕
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	89,998円 〔△2,768円〕
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	57,130円 〔4,647円〕
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	48,972円 〔△727円〕
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	32,304円 〔△21,313円〕
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	25,715円 〔912円〕
議会費	村議会運営のためのお金	11,063円 〔419円〕
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	10,169円 〔2,246円〕